

# 光南町出身の女性能楽師 大島衣恵さんに聞きました

観阿弥・世阿弥親子によって大成された能楽は約600年の歴史を持つ舞台芸能。24歳のとき、喜多流では女性として初めてシテ方（主役）として(能楽協会)に登録された大島衣恵さんに、福山の歴史や文化についてお話を聞きました。

海上交通の要所であった福山は、全国に誇れる歴史的遺産がたくさんあります。古くから潮待ちの港として栄えた「鞆」は、万葉集にも歌われた

並ぶ美しい景色が残っており、多くの観光客でに

歴史ある港町で、常夜燈や雁木（がんぎ）など、江戸時代の港湾施設がそのまま残っている貴重な場所。白壁の商家が立ち並び、西町の広島県立歴史博物館には芦田川の川底で見つかった「草戸千軒遺跡」の出土資料が展示され、中世の活気ある生活

を今に伝えてくれます。また、JR福山駅から徒歩1分で行ける福山城の天守閣から見下ろす景色は素晴らしいので、ぜひ福山に来られた方を案内される際は、天守閣まで上っていただきたいですね。また、ものづくりの街として知られる福山は、琴などの伝統産業でも全国に知られています。時問をかけて育まれたものに、人は「誇り」を感じるのだと思います。次世代に受け継ぐためにも、あらためて、歴史と文化が薫る街、福山の各地をめぐる、奥深い歴史ロマンを感じていただけるとうれいす。

歴史ロマンに浸れる  
ところが魅力です。



大島衣恵さん

1974年生まれ。喜多流大島能楽堂を中心に活動し、海外公演にも出演。比治山大学客員教授、エリザベト音楽大学・広島大学の能楽非常勤講師

08/04/26 発行 1099号  
リビングふくやま

back